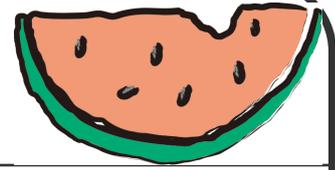


のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット (千葉県委託事業・野田健康福祉圏域)

<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

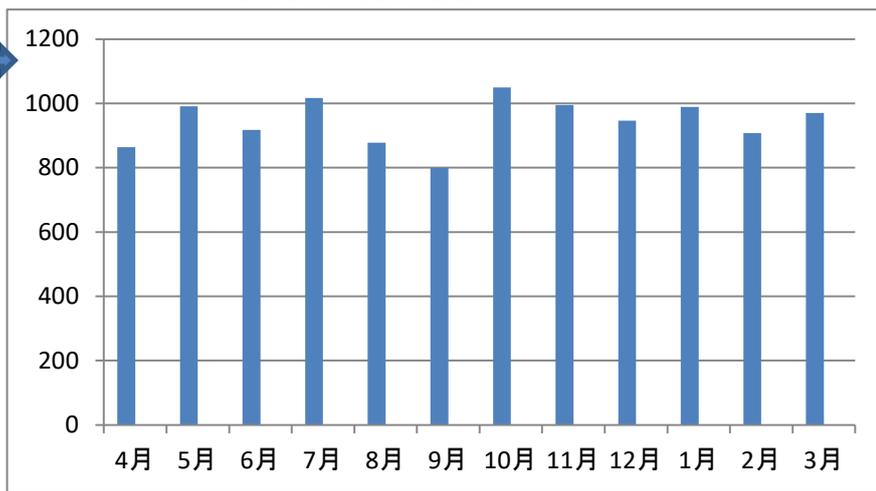
TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367

〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com

中核地域生活支援センターのだネット 2021年度報告

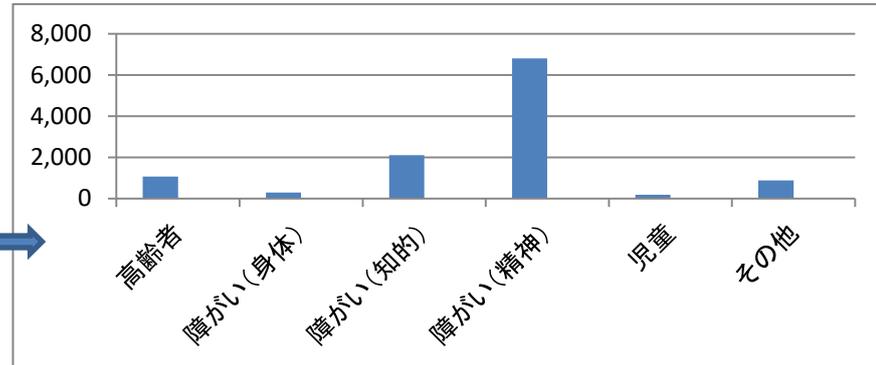
相談件数 延べ件数

4月	864
5月	991
6月	917
7月	1017
8月	878
9月	799
10月	1050
11月	995
12月	946
1月	989
2月	908
3月	970
合計	11,324



年間実人数

新規	203
継続	1,314

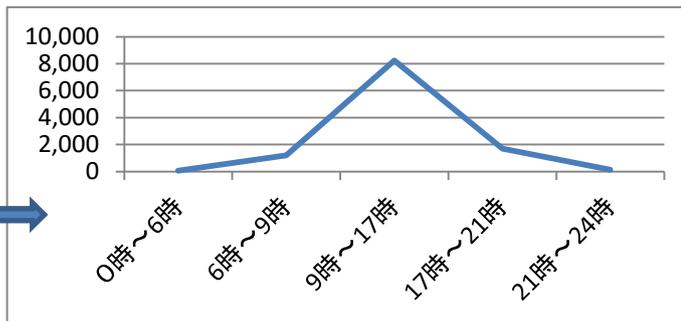


対象別

高齢者	1,073
障がい(身体)	295
障がい(知的)	2,104
障がい(精神)	6,794
児童	184
その他	874

時間帯

0時～6時	71
6時～9時	1,192
9時～17時	8,224
17時～21時	1,694
21時～24時	143



(記:五十嵐)

相談方法

電話・FAX・メール	8,665
来所	124
訪問	2,343
個別支援会議	39
その他	153

住所別

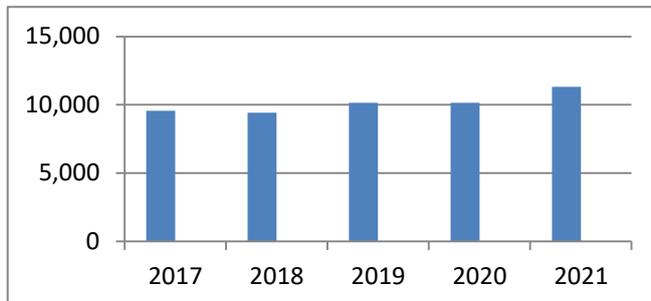
野田市内	10340
千葉県内	745
県外	239
合計	11,324

相談は「高齢者と暮らす子どもへの支援」「障害年金の申請」「福祉サービスの利用について」などが多くあります。
件数は多いですが、それぞれに丁寧な対応を心掛けています。



件数の推移

年	件数	新規実人数
2017	9,557	170
2018	9,428	188
2019	10,152	216
2020	10,152	176
2021	11,324	203



のだネット 運営委員会を

昨年度に引き続き書面開催としました！

のだネットでは毎年、運営委員会を開催して委員の皆様には年間の報告と運営についての意見を伺っていました。

昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染防止の観点から、書面にてのご報告とご意見を賜る形を取らせていただきます。

今年度から中核地域生活支援センターの要綱の中に「校内居場所づくり事業」が入りました。今年度はモデル事業として市川・海匝・山武・長生・市原の圏域で行われます。来年度以降広げて行く予定ということで、野田圏域で何ができるか模索していきたいと考えています。

頂いたご意見や感想は、今後の活動に反映するべく努力してまいります。
(記:五十嵐)

女性支援法が成立

困難な問題を抱える女性を支える法案が2022年5月19日の衆議院本会議で全会一致により可決、成立しました。売春禁止法に規定された婦人保護事業を移し、性的な被害などによって生きにくさを抱えた助成を支えます。基本理念に「福祉の増進」「民間団体との協働」「人権の養護」を位置づけました。「困難な問題を抱える女性の福祉の増進を図り、人権が尊重され、安心して、かつ自立して暮らせる社会の実現寄与する」「売春法に基づく婦人相談所を女性相談支援センターに改称。女性の立場に合わせた相談や一時保護を行い、医学・心理学的に援助する」としています。

法律を理解し、困難を抱える女性の目線に立った対応をしていきたい。

施行は2024年4月1日。

(記:五十嵐)

ゆったりカフェについて

これまで原則第3日曜に開催してきましたが、今年度は原則第2日曜となります。障がいの種別は問わず、ふらっと遊びに来れる場を企画しています。新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら活動を続けています。

【報告】

- 4月3日(日) の花見は雨の為中止となりました。
- 5月8日(日) ポッチャ 参加者4名
男子と女子に分かれて2人組チームで6回戦行いました。
少人数ながらも久しぶりの再開で盛り上がりました。
- 6月12日(日) ウノ 参加者5名
ゲーム大会として行いましたが、参加者の要望により、ウノを行いました。
- 7月10日(日) 参議院選挙と重なり、会場が使用できず中止。



【予定】

- 8月14日(日)ゲーム大会
- 9月11日(日)ポッチャ
- 10月9日(日)ボーリング(イオンのボーリング場を予定しています)

新型コロナウイルスの感染はまだまだ先が読めない状況なので内容や参加については「のだネット」までご連絡下さい(04-7127-5366)担当:五十嵐

お知らせ

中核地域生活支援センター大会in2022

テーマ:「地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築について

～つながり続けることの意味と重要性～

内容: ①千葉県中核地域生活支援センター事業 実践報告

②基調講演

「地域共生社会の推進に向けて見えてきたこと」

講師:厚生労働省地域共生社会推進室 室長 米田 隆史氏

③パネルディスカッション

「地域共生社会の推進と重層的支援体制の構築

～繋がり続けることの意味と重要性～

コーディネーター:千葉県中核地域生活支援センター 会長 渋沢 茂氏

コメンテーター :厚生労働省地域共生社会推進室 室長 米田 隆史氏

登壇者①:市原市共生社会推進課(福祉総合相談センター) 所長 小旗 理恵子氏

登壇者②:松戸市高齢者支援課 課長 長島 朋子氏

登壇者③:千葉市基幹相談支援センター連絡協議会

千葉市基幹相談支援センター中央 伊藤 佳世子氏

日時 令和4年8月30日(火)13:00～17:00(ログイン開始12時30分～)

開催方法 オンライン 定員500名

申込方法 右のQRコードよりお申し込みください

締め切り 8月19日まで

参加費 無料

<お問い合わせ先>

大会事務局 中核地域生活支援センター さんネット

TEL 0475-77-7531



編集後記

暑い日が続いています。周りでも調子を崩されている方が沢山います。無理をせず、水分補給と休息をとって夏を乗り切ってください！！

(記:五十嵐)